

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|---|-------|-----------|
| 事業所番号 | 272400540 | | |
| 法人名 | 有限会社恵成 | | |
| 事業所名 | グループホームすい賓荘 | | |
| 所在地 (電話番号) | 〒037-0514 青森県北津軽郡中泊町小泊浜野61-1 (電話) 0173-64-3018 | | |
| 評価機関名 | 社団法人青森県老人福祉協会 | | |
| 所在地 | 〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年3月10日 | 評価確定日 | 平成21年5月2日 |

【情報提供票より】(平成20年12月15日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-------------------|--------|------------------------|
| 開設年月日 | 昭和(平成) 14年 10月 1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 9 人 | 常勤 | 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.45人 |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 建物構造 | 木造平屋造り | | |
| | 1 階建ての | 階 ~ | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------------|----------------|------------|
| 家賃(平均月額) | 3,040 円 | その他の経費(月額) | 冬期 5,000 円 |
| 敷金 | 有() 円 (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有() 円 (無) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| または1日当たり 780 円 | | | |

(4) 利用者の概要(12月15日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 9 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 4 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 85.3 歳 | 最低 | 81 歳 | 最高 | 93 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------------|
| 協力医療機関名 | 中泊町国民健康保険小泊診療所 |
|---------|----------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、民家が立ち並ぶ住宅地に立地しており、周りの風景に違和感無く溶け込んでいる。職員は地元採用者が多く、入居者、家族とも昔からのなじみの関係があり、入居者と職員の笑い声が聞こえる和やかな雰囲気の中、一家族のように生活している様子が感じられる。日頃から入居者の意向を大切にしており、外出等の希望がある際は、随時対応している。また、運営上の相談を他事業所と行ったり、職員が行政相談員として活動を行うなど、外部との連携も積極的に行っている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題については、職員同士で話し合いのうえ取り組んでいる。家族の意見を取り入れた運営をするためのアンケート調査を予定しており、内容については他事業所と相談している。入居者と職員が食事を一緒にとることや鍵をかけるケアの実施については、職員の体制やテーブル配置等を見直すことで改善されている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>定期的に自己評価が行われ、事業所として不足している点等について職員全員が意見を出し合い、サービスの質向上に努めている。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事業所としての取り組みを公表し、参加者からの情報収集・意見交換等を行っている。また、参加者と入居者との交流の場となっており、参加者の認知症に対する理解が深まってきている。</p> |
| 重点項目 | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>面会時等、家族の意見を聞くように努めており、サービス計画に反映する等の対応がされている。また、苦情箱を設置したり、受付窓口を明示したりして、苦情等について前向きに取り組んでいる。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>住宅地に立地しているため、隣近所と顔を合わせる機会も多く、地域にある事業所として認知されている。事業所の行事に招待したり、他事業所や地域の行事へも積極的に参加する等、地域との繋がりを大切にしている。</p> |

2. 評価結果(詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 事業所名の由来にもなっている創設当時の理念を根本におき、入居者の自立支援、共生を目指している。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 会議等の場において、管理者から理念について喚起されており、職員全員の意識統一が図られている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 4 | 隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。 | ホームの行事や訪問がある際には、回覧板やポスターを活用して近隣住民へも案内を出し、積極的に交流を図っている。また、地域の行事にも積極的に参加し、地域との深い関わりを継続していけるよう努めている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 5 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>職員全員が、評価事業の意義、目的を理解したうえで自己評価に取り組んでいる。また、改善点については、会議等で話合われ、改善に向けた取り組みがなされている。</p> | | |
| 5 | 6 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>会議の場において、入居者との交流の場を設けることで、会議参加者の認知症への理解が深まっており、より良い意見交換の場となるよう努めている。</p> | | |
| 6 | 7 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>職員が、行政相談員等の活動に参加していることもあり、役場職員と関わる機会が多い。また、地域ケア会議に参加し、情報収集、意見交換をする等、サービスの質の向上に努めている。</p> | | |
| 7 | 8 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>地域包括支援センターの職員を招いて研修を行い、制度の理解と活用に努めている。</p> | | |
| 8 | 9 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待について、職員の行っている対応、言葉がけ等を話し合う機会があり、常日頃から虐待防止の意識を持って業務を行うように努めている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 9 | 10 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約は、重要事項説明書に基づき、事業所のできること、できないこと等について十分な説明が行われ、家族等の理解が得られている。</p> | | |
| 10 | 12 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>家族来訪時の報告の他、ホーム便りを郵送する際、現況報告や写真を同封し、入居者の暮らしぶりを家族へお知らせしている。健康状態について変化があった際には、随時受診前後の状態等を電話などで報告している。</p> | | |
| 11 | 13 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>職員は家族の面会時等、随時意見を聞くように努めている。また、苦情箱を設置したり、受付窓口を紹介する等、前向きに取り組んでいることを伝え、事業所運営に生かしている。</p> | | |
| 12 | 16 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>異動等はほとんど無いが、新たに採用する職員は、地元からの採用を心がけ、昔からの馴染みの関係の継続に配慮している。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 13 | 17 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の適正等を考慮し、外部の研修にも積極的に参加している。研修参加後は報告会を行い、知識の共有を図っている。 | | |
| 14 | 18 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域他事業所とお互いの行事に参加する等して交流を図っている。また、運営上困った際は、情報交換を行ってサービスの向上に努めている。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 15 | 23 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前には事業所見学を勧めたり、自宅を訪問することで馴染みの関係の構築に努めている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 16 | 24 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は入居者それぞれの個性を理解し、自立に向けた支援を行うとともに、一緒に食事をしたり、後片付けをしたりと、家庭で暮らす家族のような雰囲気で協力できるよう取り組みがなされている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 17 | 30 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | センター方式を用いて確認する他、日常的な本人との会話、表情や雰囲気等から意向の把握に努めている。急な外出希望や当日の献立も希望があれば変更するなど、入居者の希望に即座に対応している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 18 | 33 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人・家族等と話し合い、意向や希望を確認するとともに、日常的な関わりの中での職員からの意見や、主治医からの情報提供も参考に介護計画の作成が行われている。 | | |
| 19 | 34 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的な介護計画の見直しが行われている他、状態の変化が見られた際は、随時見直しが行われている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 20 | 36 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 予定以外の緊急的な受診や行事以外の外出の他、面会時の送迎、家族の宿泊等にも対応している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 21 | 40 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 在宅時からのかかりつけ医を継続しており、遠方でも受診対応している。健康面については、個々のかかりつけ医に相談し助言を得ている。 | | |
| 22 | 44 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した際の受入れについては、事業所での対応可能な範囲を契約の際に家族へ説明している。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 23 | 47 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 地域特有の言葉使いを大切にしながらも、入居者それぞれの誇りやプライバシーを尊重する言葉がけに配慮している。 | | |
| 24 | 49 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日課はある程度決まっているが、プログラムに参加するかは本人の意向に任せているため、無理強いをせず、本人のペースを大切に支援がされている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 25 | 51 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>食事には、季節の食材や地元で取れた食材が取り入れられ、職員が会話をしながら一緒に食べることで、食事が楽しめるよう努めている。食後には自発的にお膳を下げる方もおり、テーブル拭き等も積極的に協同で行われている。</p> | | |
| 26 | 54 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>入浴日を増やし、一人一人がゆっくりと入浴できるようにしている。希望時には入浴日以外でもシャワー浴で対応している。浴室の壁にはヒバが張り巡らされており、入浴を楽しむ工夫がなされている。</p> | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 27 | 56 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>食事の際の準備や後片付けをされる方、夏場には畑作りを行う方など生活歴を活かした役割作りを支援している。カラオケの日を設けるなど、個々の希望等も取り入れてレクリエーション活動が行われている。</p> | | |
| 28 | 58 | <p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>行事への参加の他、入居者と一緒に買い物に出かけたり、家族に会いに行きたいなどの希望がある際には、できるだけすぐに対応できるよう外出支援がされている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|------|---|---|---------------------|--|
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 29 | 62 | <p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>身体拘束が行われないう、随時職員自らの行動を振り返る機会をもうけ、防止に努めている。</p> | | |
| 30 | 63 | <p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>テーブルの配置を換えるなど、環境整備や見守りすることで、鍵をかけないケアの実践に努めている。</p> | | |
| 31 | 68 | <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>年2回の避難訓練が行われている。また、災害時に備え、運営推進会議等を通して近隣住民へも協力を要請している。</p> | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 32 | 74 | <p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>毎日の摂取状況の観察、定期的健康診断や毎月の体重測定で健康状態の把握に努めている。また、食事内容を「栄養バランスシート」に記入し、保健師に栄養バランスについて助言を受けている。</p> | | |
| 33 | 75 | <p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p> | <p>手洗いうがい・手指消毒を徹底している。また、研修を行うことで知識の共有を図り、感染予防に努めている。</p> | | <p>マニュアルは用意されているものの、事業所の実状に即したものが整備されるよう、定期的な見直し等を期待したい。</p> |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| <p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> | | | | | |
| <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p> | | | | | |
| 34 | 78 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>共有スペースには椅子、ソファ、畳が用意され、それぞれが思い思いの場所でくつろいで過ごされている。壁面には行事の写真や様々な飾り付けがあり、季節を感じられるような配慮がされている。</p> | | |
| 35 | 80 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>自宅で使用していた家具等を持ち込んでおり、家族の写真等を壁に飾るなどして、それぞれに居心地のよい部屋作りがされている。</p> | | |

 は、重点項目。